

## 新たな県総合計画策定に係る大学生の意見について

### 1 概要

新たな県総合計画の策定に当たり、「若者からの意見」として参考にするため、茨城大学との連携講義「茨城学」において意見を聴取した。

#### ※茨城学

- ・受講人数：約 1,600 名（茨城大学の H30 新入生全員（茨城県出身者は約 45%））
- ・講義数等：全 15 テーマ。うち 1 テーマを県が担当。
- ・講義内容：茨城県の歴史・地理・文化・産業などの学習を通して、茨城への理解を深めさせるとともに、地域を多角的に捉える力を身につけさせる科目。

### 2 実施日

7 月 3 日（火）4 限（14:20～15:50）教育学部 5 限（16:00～17:30）理学部，農学部，工学部

7 月 4 日（水）3 限（12:40～14:10），4 限（14:20～15:50）人文学部，工学部

### 3 主な意見

「活力があり，県民が日本一幸せな県」の実現に向けて、「新しい夢・希望」を中心に，県政にどのような挑戦が必要となるかを学生が検討し，グループでの発表及びレポートを提出。

#### 【新しい夢・希望】

##### ○魅力度 No.1 プロジェクト

- ・茨城は魅力のあるものが多いが，多すぎて一つひとつの比重が軽くなってしまっていると思う。PR するものを何か一つに絞って力をいれた方が良いと考えた。
- ・茨城県は人口が分散しているため，それぞれの地域がそれぞれにイメージアップしていくことができると思う。茨城県を一括りにしない，地域毎に特色のあるまちづくりをしていく必要があると思う。
- ・県民が一丸となって，全員で茨城県を押し上げていく施策が必要。単発のイベントだけではなく，県民が主体となって参加する長期的なプロジェクトが必要。
- ・茨城県に来てバランスよく栄える住みやすい地であることがわかったが，ずっと県内にいる人がその魅力に気づいていないのはもったいない。県民が地元を誇りに思えるような取り組みが必要だと思う。
- ・茨城の港が車の輸出入の窓口になっていることならでは，モーターショーの開催のような，特色を活かした PR ができると良いと思う。
- ・若い女性の興味・関心を引くような活動が必要。例えば，結城紬を現代風にアレンジして着物女子を増加させるなど，地域の特色を魅力に変えるような仕掛けもできるのでは。

##### ○世界に飛躍する茨城へ

- ・海外企業の誘致するなど，（県民が）能力を向上させやすい環境をつくるのが人口流出に歯止めをかけ，活力を生むことになるのではないかと。
- ・時代の流れに乗り遅れない産業の応援に行政と街が力を合せる。これからの時代は，既存の産業に加えて，IT や観光産業など，より女性が働きやすい場所が増えていけば良いと考える。
- ・最新の技術の活用を強みとして，自然と近未来の両方の面を持つ県になれば，魅力的だと思える。

### ○ビジット茨城～新観光創生～

- ・農業体験は、茨城ならではの魅力であり、海外や都心から多くの人を呼び込めるコンテンツになるのでは。
- ・茨城には大きなテーマパークなど遊べる場所があまりないが、その代わりに自然や地域の人との関わりなど、都会では体験できない良さがあり、田舎体験など実際に住んでみて伝わる魅力があると思う。
- ・笠間焼体験がとても楽しかったことを覚えている。県民や観光客が体験できるものを取り入れるとより良いと思う。

### ○茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功

- ・単に国体やオリンピックの競技会場になるだけではなく、「また来たい」と思ってもらえるような観光資源や食文化といった魅力を日本中、世界中に発信していくべきと考える。
- ・国体・障害者スポーツ大会の機会を活かして、障害をもつ人の交通アクセスや会場の移動がスムーズにいくような整備がなされると良い。

### ○活力を生むインフラ整備

- ・自然が豊かで住みやすい。そして、空港を使って遠方に行きやすい、東京に行きやすいという点は押し出すべき魅力だと思う。茨城空港から行ける場所や国を増やすことで、全ての年代や人が利用できる新たな魅力が生まれるのではないかな。

### 【新しい豊かさ】

- ・人口は少なくなっても、一人一人が幸せだと感じられるような県になればいい。AI等の技術を活用して、生産効率を上げて行けば、人口が少なくなっても豊かであるはず。
- ・外国人観光客が、観光スポットだけでなく地域自体に関心を持ってもらえるようにアプローチする。様々な人種が同じ地域に住むことを魅力と捉え、外国人の雇用を創出し、永住してもらえそうな環境を整備する。
- ・強みの農業とつくばなどの先端技術をうまく調和させていく必要があると思う。
- ・農業に対する若者のイメージを良くしていくために、茨城県独自の学校教育として、農業に関する授業を行うなど、「農業＝つらい」のイメージを変え、農業従事者数を増加させていくことも、県の活性化につながると考える。

### 【新しい安心安全】

- ・アクセスについて、地方の公共交通は未だに不便であり、本数を増やすなどの工夫をし、住みよさの偏りを無くしていく必要がある。

### 【新しい人財育成】

- ・日本一子育てしやすい県にする。ママ同士が子育てを支え合える、悩みを相談し合えるカフェや、不要になったベビーグッズや服のリユースの仕組みなどがあると良い。
- ・東京へのアクセスが良い反面、県内のアクセスが不便なため、県外志向になりがちで、遊ぶ場所や流行りの店が県内にできにくいと考える。住みよさを活かし、男性の育児参加や子育て支援に力を入れて、定住の地として選ばれる茨城県を目指していくと良いと思う。
- ・子供の孤食が進んでいるため、子どもと菜園して食事をともにするような、農業県である茨城の特色を活かした施設があれば。
- ・県外からも進学したいと思えるような教育制度があると、人口減少を抑制できるのではないかな。また、東京に近く、住みやすいということをもっとアピールしたら、若い人がくると考えた。